

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	よつば・あえる		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日	～	令和7年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日	～	令和8年1月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月9日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「支援の方針」「個別支援計画の内容」「支援の内容」「保護者様への伝達内容」に一貫性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全員が常勤である。</li> <li>支援の方針(事業所のミッション)を明確にしている。</li> <li>児童様の日々の様子や状況を個別支援計画の目標に沿って振り返り、記録を取っている。</li> <li>支援方法や児童様の様子等を職員間でこまめに情報共有して、支援方法についての一貫性を高めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員同士のコミュニケーションを、今まで以上に意識して、より意見を出しやすい関係を築く。</li> <li>より一貫性のある支援が行えるよう、情報共有の質を高める。</li> </ul>
2	児童様が安心して楽しく過ごせる環境である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングや雑談の中で、児童様への対応や状況について、職員間で共有している。</li> <li>アタッチメントを形成するための関わり等、児童様との関わりの原則について、ミーティングや雑談の中で共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員1人ひとりの役割をより明確にする。</li> <li>職員1人ひとりが、状況に応じてさまざまな役割で児童様と接することができるよう、ミーティングや事業所内研修の頻度を高める。</li> </ul>
3	児童様だけでなく、保護者様の満足度も高い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的な知識だけでなく、人間力向上のための法人内研修を行っている。</li> <li>児童様の支援に偏らず、保護者様の立場や考えを尊重した関わりを心がけている。</li> <li>保護者様からのご意見やご相談に対して、より迅速で的確に対応するために、職員1人ひとりの役割が明確である等、職員間でより迅速で的確に「報告・連絡・相談」ができる体制・環境が整っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員1人ひとりの役割をより明確にする。</li> <li>保護者様の想いを、より深く理解して支援に落とし込めるよう、職員間の情報共有の質を高めると共にミーティングや事業所内研修の頻度を高める。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない/外部との連携が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童様及び保護者様の拒否感や、事故・事件への危険性が解消できないこと。</li> <li>療育上の必要性を見いだせていないこと。</li> <li>体制は整っているが、連携の必要のあるケースがなかったこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他施設等の取り組みを参考にする。</li> </ul>